

まいる互版

みなさま
はじめまして

在宅介護支援事業所 * 所長 * 奥谷はるか

身に余る役職を仰せつかり恐縮ですが地域の医療において重要な役割を担っていらっしゃる皆様のお力になれるよう精進してまいります。よろしくお願いいたします。

この度在宅介護支援事業所所長に任命されました奥谷はるかと申します。2021年に鳥取大学を卒業、鳥取県立中央病院で初期研修を修了し鳥取市立病院総合診療科勤務を経て、今年4月から日野病院で勤務させて頂くことになりました。現在は総合診療専門医および家庭医療専門医の研修中です。



奥谷先生に
質問です

Q

&

A

① 出身地はどこですか？

鳥取市

② 趣味はなんですか？

カフェ巡り 旅行

③ 好きな食べ物は？

最近ハマっているのは葉わさび

④ 嫌いな食べ物は？

フルーツ系は苦手です…

⑤ お休みの日の過ごし方は？

カフェ巡り

⑥ 学生時代の部活動は？

ソフトボール部

⑦ 自分から見た自分ってどんな印象ですか？

のろのろしている のんびり家

⑧ みなさんにひとことお願いします！

頼りになるかはわかりませんが何でも気軽に教えていただければと思います。よろしくお願いいたします。



◇ 訪問リハビリ満足度調査アンケート結果報告（令和6年度） ◇

・調査期間：令和7年2月1日～令和7年2月16日 ・対象者：訪問リハビリをご利用の方
集計結果ではリハビリの内容、スタッフの対応等全体的には高評価なご意見をいただきありがとうございました。

自由記載では、

- リハビリに来ていただくようになり、本人が自主的に体を動かすようにもなりました。継続して来ていただいて、本人も続けて体を動かしてくれる事を希望します。
- リハビリをするようになって1年半になりました。いろいろ話をしたりアドバイスをしていただき楽しく過ごすことが出来ました。歩くのは大変だけれど、ほかは少しずつ楽になったように思います。
- 1週間に2回のリハビリが1回になり困ります。どうにかならないでしょうか、不安です。
- 99歳になっても、週1回のリハビリでかなり効果があるように思います。
- 介護するにあたり戸惑うことが多々ある中、適切なアドバイスをして下さいますので気持ち楽になり大変助かります。
- 利用者本人が難聴のため、聞こえづらいことが多々ありますが、寄り添って分かりやすい言葉で説明しながらリハビリを実施していただいており、本人はもちろんのこと、家族としても感謝しております。
- 年齢的なものもあり、身体的なリハビリは難しいところもありますが、いつもいろいろな話をしていただき、本人も喜んでおります。なかなか家族間の会話が乏しくなってしまうこともあり近所づきあいの会話もほとんどなくなっているの、リハビリでのおしゃべりで元気をいただいているようです。

など多くの意見をいただきました。これから暖かくなる季節のため、屋外歩行を望まれる意見が多かったように思います。今後も利用者様へのより質の高いサービスが提供できるよう努めていきます。



どうぞ
よろしくおねがい
します

訪問看護ステーション 管理者 松本友恵



約3年間の病棟勤務を経て、令和7年1月から再び訪問看護ステーションに戻ってまいりました。そしてこの度4月1日より管理者を引き継ぐことになりました。

これまで培ってきた経験を活かして皆様に住み慣れたご自宅ですこしでも安心して生活を送っていただけるよう微力ながらもお力になりたいと思っております。

訪問看護師として、また管理者として、皆様のお役に立てるよう日々努力してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

<連絡先>【日野病院組合＊在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション
0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所
0859-72-2723

◇ 訪問看護サービスに関する利用者 満足度調査結果のご報告（令和6年度）◇

令和6年度利用者満足度調査にご協力いただき、ありがとうございました。

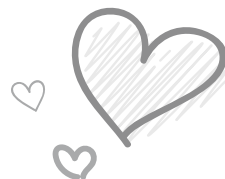
利用者45名中 回収30件 回収率は66%でした。

集計結果に基づきまして、ご本人やご家族の目標に沿うようまた様々な専門職が同じ方針で取り組んでいけるよう連携を強化していきます。

お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては真摯に受け止め、今後のご利用者様へのサービスや業務改善に役立ててまいります。ありがとうございました。



訪問看護ステーション 看護師一同



塔の峰の記憶

塔の峰…塔の峰公園。台上から根雨の町並みと遠く大山の南壁が一望できる公園。春は桜の名所でもある。

保育園、小学校の遠足の場所だった塔の峰。桜に覆われた場所のイメージです。

桜咲く4月、私が根雨中学校に入学した同級生は36人、たった1クラスなんて今までないと言われたクラスです。

理科の先生だった担任の先生、初めての理科の授業は何故か…

先生：「今日は塔の峰だあ」 男子：「うわあー」 私：「えっ、なんでですかー？」

先生：「まあええがな」

中学校の真横に流れる板井原川を、石をつたってわたり、国道まで登り、塔の峰へ。

当時ではかなり斬新な授業だったように思います。私は、これは何の意味があるのだろう、と考えながら登ったけれど、最後の方はしゃべって遊んで答え探しも忘れていました。

しつこい私が最初の理科の授業の意味を後年聞いたところ、「3年生の担任が長くて、1年生の担任になったらみんなあまりに小さく幼く（あまりにも可愛く）戸惑った、とりあえず一緒に遊べ！と思った」そうでした。それからクラス替えもないこのクラスはたぶん、仲が良かったと思います（そう思っていない人、ごめんなさい）。合唱コンクールは一致団結、1クラスの人数（36人）が多く、声量で根雨中学校の代表を取っていたような気がするのは私だけでしょうか？（当時は1学年で46人を超えると2クラスに分けられ1クラスの人数は23人となりますので）

塔の峰を見上げるといつも思い出します。

3年間担任は変わらず、卒業まで大変お世話になりました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。もっと早く日野に帰れるとよかったのですが。